

『あじさい遠足』

6月の外出行事として“フラワーパーク江南”へ出かけました。梅雨入りが遅れていたお陰で雨の心配はなく、ちょっと汗ばむくらいでした。

まずエントランスを歩きながら水盤池や色とりどりの花壇を見て、爽やかな風が吹いては「気持ちが良いね～」と自然を感じられました。

あじさい展では「キレイだね。こんなに立派に育つまで大変だね」「茶色のあじさい、名前がチョコレートだよ。ポップコーンって名前もあるね！」など、今まで見たことのない色々な種類のあじさいに、とても素敵な笑顔を見せていました。

お気に入りのあじさいの前で写真を撮り、折り紙であじさいを作り掲示板に貼りました。水分補給をして帰ってからも「楽しかったね」「また行きたいね」と会話が弾み、楽しい1日を過ごすことができました。



『壁画飾り作り』

こんにちは。
毎月、はなえくぼ扶桑では、その月らしい壁画飾りを製作しています。壁画飾りは色とりどりで、施設内がパッと明るい雰囲気になります。

壁画飾りを作る際、私は利用者様全員が製作に参加できるように心掛けています。壁画飾り作りは、まず来月にはどんなイメージをお持ちかを質問することから始めます。その月のイメージを思い浮かべ、それを他の利用者様と共有し、さらにイメージを膨らませることで頭を使います。楽しい会話が生まれ、完成までのワクワクに繋がります。飾り作りには、指先を使う作業がいくつもあり、手指のリハビリ、脳への刺激と、良い点がたくさんあります。

今後も利用者様によるこんでもらえるよう、楽しく作れる壁画を考えていきます。



使わなくなったタオルがありましたら
ご寄付をお願いします。たくさん消費します。
よろしく願いいたします。

『新型コロナウイルス感染症』

6月終盤、はなえくぼ扶桑では、利用者様も職員もみんな新型コロナウイルス感染症にかかり、おとなしく過ごしていました。ご家族の皆様にはご心配をおかけし申し訳ありませんでした。

正翔会クリニック、コーヨー調剤薬局の皆様には、昼夜問わず何度も足を運んでいただきありがとうございました。

驚異の感染力で、最初の陽性者が出た時には、すでに施設中に蔓延している状況でした。自分が感染しても身体が動く限り出勤してくれた職員、最後まで感染せずに美味しいご飯を作り続けてくれた職員、みんなの力で乗り切ることができました。ありがとうございました。

利用者様にも辛い思いをさせていただきました。しんどい中でも、みなさんが職員の体調を気遣い、明るい言葉をかけてくださったお陰で、気持ちを保つことができました。皆様の優しさに心から感謝申し上げます。

騒動の中、玄関先のプランターで初なりのきゅうりを収穫し、みんなで少しづつ分けていただきました。ぐんぐん育つゴーヤときゅうり、それにナス。夏の間のお楽しみができました。



『気持ちに寄り添う対応を』

認知症の人の多くが抱えやすい不安や孤独に寄り添うには、言葉を超えたコミュニケーションが大切です。特にスキンシップは、言葉では伝えにくい愛情や安心感を伝えるのに効果的なコミュニケーションツールとなります。

手を握ったり、背中や肩を優しくなでたり、そっとハグをしたり。スキンシップによりオキシトシンというホルモンが分泌され、不安や緊張が和らぎ、心が落ち着きます。また、血流が促進され、脳が活性化したり、会話を促す効果も期待できます。認知症の方へのスキンシップは、単なるスキンシップではなく、心をつなぎ、寄り添うための大切なコミュニケーションなのです。

スキンシップの際に気を付けることは、次の3つです。①嫌がる相手に無理強いしない。②落ち着ける場所で。③力の強さ、表情や声のトーンに配慮する。相手を尊重し、温かい心の交流を深める意識でスキンシップをとりましょう。

はなえくぼ各ホームでは一緒に働く仲間を募集しています。職場見学などお気軽にお問い合わせください。

次回は、はなえくぼひくみ便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398

(0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ

犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1

(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小机町長者毛西132番地

(0587) 52-3808

はなえくぼのホームページ

www.gh-hanaekubo.com

ブログも時々更新しています